

12. 小学生による活断層を紹介するパンフレットの製作

安江健一・倉橋奨

1. はじめに

過去に地震を引き起こした証拠である活断層の存在を地域住民が知ることは、住民の防災意識の向上につながると考えられる。しかし、専門家ではない住民が、活断層の存在を現地において確認することは困難な場合が多い。そこで、平成29年度は、活断層の位置と特徴を示す看板を製作・設置する取り組みを、岐阜県中津川市加子母地区において実施した。この取り組みでは、小学6年生が、住んでいる地域にある活断層について学び、その活断層の位置や特徴を説明する看板を製作・設置した。その看板は、地域内外の人たちが見て、活断層について知ることに役立っているが、全ての看板が行きやすい場所、分かりやすい場所に設置されているわけではない。より多くの方に看板を見ていただくとともに、活断層についての理解を深めていただくために、看板より情報が得やすい方法としてパンフレットを製作する取り組みを実施した。

2. 実施内容

パンフレットの製作は、岐阜県中津川市加子母（以下、「加子母地域」という）で行われている「加子母教育の日」のテーマの一つとして、主に中津川市立加子母小学校の6年生が取り組んだ。加子母教育の日とは、加子母地域の教育協議会が主催して「加子母地域の子どもたちを、学校・家庭・地域ぐるみで育てよう」と、例年11月最終日曜日に授業を行っている。教育協議会の理事が先生と相談して授業内容を考え、それに併せて地域の方を先生として迎えて授業を行う。この日は、誰でも参観できるため、お子さんやお孫さんが学校にいない方でも地域の子どもたちの授業風景を見ることができ、平成30年度は11月25日に開催され、小学6年生が「活断層について学び・深め・伝えよう-断層パンフレットづくり-」というテーマで取り組んだ。パンフレットづくりは、小学校の校長および教員からアイデアとご協力をいただきながら、加子母教育の日以外にも取り組んだ。具体的には、以下の通りである。

- 1：平成30年9月25日 活断層である阿寺断層の見学
- 2：平成30年11月16日 パンフレット製作に向けての準備作業
- 3：平成30年11月25日 「加子母教育の日」パンフレット製作
- 4：平成31年3月1日 パンフレット完成
- 5：平成31年3月20日 主要施設へのパンフレットの配布

2.1 平成30年9月25日 活断層である阿寺断層の見学

自分たちが住む地域に存在する活断層である阿寺断層の位置や断層変位による川・山の形成などを知るため、加子母地域をバスで移動して地形などを見学した。その際は、平成29年度に活断層の動きや特徴を説明する看板を製作・設置した現在の中学1年生が同行して、看板の前で、小学6年生に対してそこで見られる活断層に関連する地形などを説明した。当日は、雨が降る中での見学になったが、小学生は熱心に中学生の説明を聞いていた（図1）。この日は、中学1年生には、地域の活断層などについて思い出す機会になり、小学6年生には、身近な先輩から活断層についてわかりやすい説明を聞く機会になった。普段の生活の中でも地域の先輩が後輩に教え

ることも多くあると思うが、活断層のような専門的なこともその内容の一つになることで、普段の学校での学びの動機付けにもなると考えられる。



図1 中学1年生（左）が小学6年生（右）に活断層の特徴などを説明

2.2 平成30年11月16日 パンフレット製作に向けての準備作業

9月25日の見学をふりかえり、専門的な解説を行なった後、住んでいる場所が比較的近い児童4～6人が集まってグループになり、パンフレットに載せる図や説明文について考えた（図2）。その際は、どのようなパンフレットになるかを説明し、サイズやパンフレット内での掲載位置を踏まえて、見やすく分かりやすい図や説明文を検討した。検討の途中では、検討している内容を発表して、他のグループにもアイデアを共有した。加子母小学校のマスコットキャラクター「かしもん」を使う、クイズ形式にする、特産品のヒノキの年輪を地層のように描く、詳細な絵を描く、写真を使うなど様々なアイデアが出た。この日は、A3用紙に全体の構成をおおよそ描いて終わった。



図2 グループでの事前作業の様子

2.3 平成30年11月25日 「加子母教育の日」

加子母教育の日の当日は、最初にこれまでの取り組みをふりかえり、次にグループに分かれてA3用紙で図や説明文を製作した（図3）。途中で進捗状況やアイデアを発表したり、参観に訪れた大人に加わってもらったりして作業を進めた。最初のうちは、グループ内で別々に作業して協力できていないグループもあったが、終了予定の時刻に近づくと、協力できるようになってきた。特に、予定の時刻になった際に、さらに時間が必要か聞いたところ、ほとんどの児童が必要と答えたので、作業時間を10分ほど延長した。それ以降は、どのグループも全員が協力して積極的に仕上げの作業を進めていた。最後にほぼ完成した図と説明文を発表して終わった。



図3 グループでの事前作業の様子

2.4 平成31年3月1日 パンフレット完成

児童が描いた図や書いた文字をスキャナで読み取り、全体でA4サイズになるように配置した(図4)。用語の説明や地図の文字は、児童全員で書いているため、阿寺断層と活断層の説明文や地図中の文字は様々な書きぶりの文字が並んでいる。パンフレットは三つ折りにし(図5)、折り方によって看板の位置とその説明と一緒に見えるようになっている(図5)。

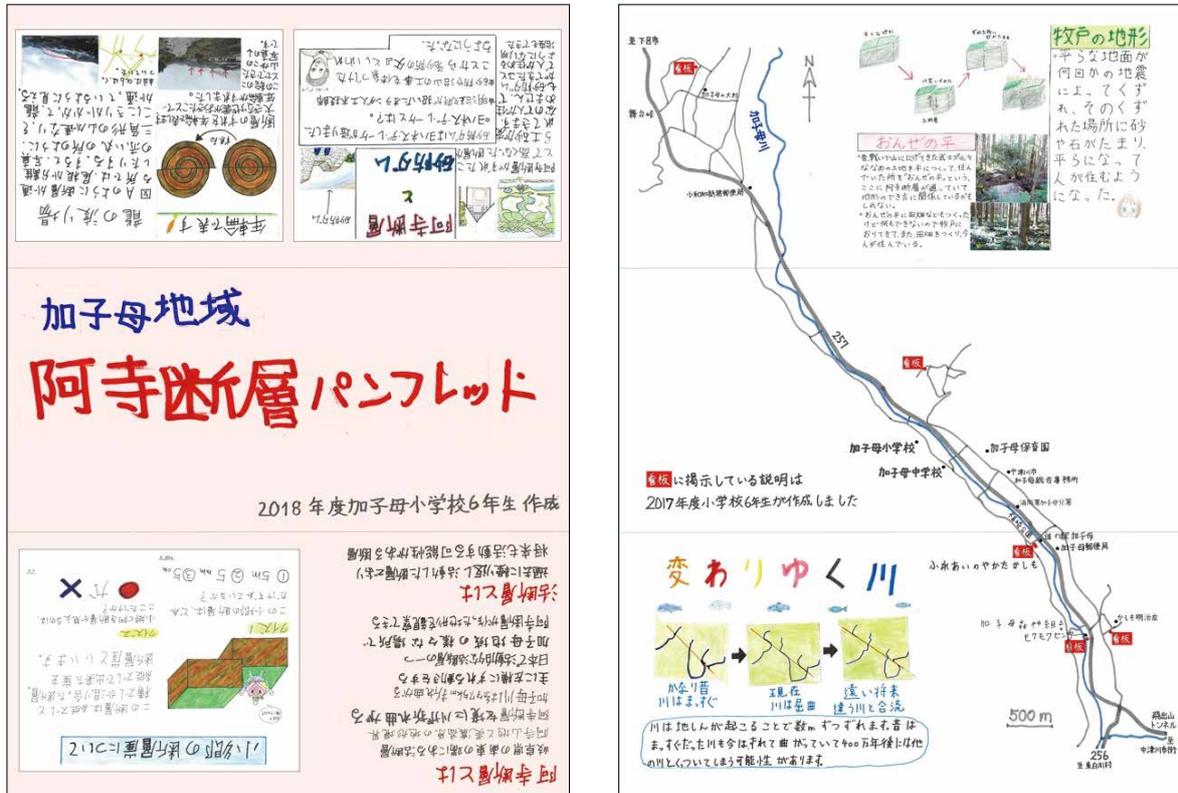


図4 パンフレットの全体像(左:表面、右:裏面)

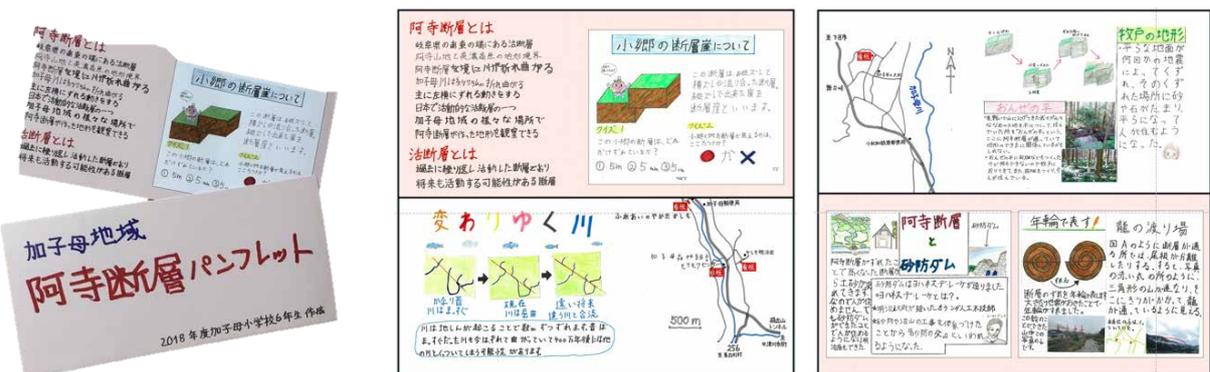


図5 三つ折りパンフレット

三つ折り状態(左)、上側だけを折り曲げた状態(中)、下側だけを折り曲げた状態(右)。折り曲げることで、地図に示されている看板付近の断層に関する情報を見ることができる。

2.5 平成31年3月20日 主要施設へのパンフレットの配布

出来上がったパンフレットは、3月20日に児童が手分けして地域の主要な施設である加子母総合事務所、道の駅加子母、ふれあいのやかたかしも、かしも明治座、加子母森林組合モクモクセンターに手分けして持って行き、施設に訪れた地域住民、観光客などにも手にとってもらえるように100部ずつ手渡した。その他、看板が設置されていた住民の方にもパンフレットを配布して、見学者に聞かれた際などに渡していただくようお願いした。また、加子母小学校の全児童・先生、加子母の全てのお宅にも配布された。



図6 主要な施設への配布の状況¹⁾

3. おわりに

本取り組みでは、平成29年度に活断層を説明する看板を製作・設置した現在の中学1年生が、小学6年生に対して現地で活断層について説明した。その説明を聞いた小学6年生が活断層について学び、活断層を説明するパンフレットを製作・配布した。今後は、この小学6年生が、中学生となった時に後輩へ活断層を説明する機会があると良いだろう。

平成29年度に作成した看板用の説明資料はラミネートされているだけであり、長持ちしない。当初の予定では、数年に1回は説明資料を更新する必要があると考えていたが、実際に掲示したところラミネートが長持ちしないことが明らかになった。数年に1回の更新の前に、年に2回程度の貼り替えが必要であり、今後はこの作業も含めて取り組むことが必要である。

さらに、本成果と平成29年度の成果を利用して、地域内外の方の防災意識の向上に貢献する持続可能な取り組みも行えると良いだろう。

謝辞

本取り組みを実施するにあたり、加子母教育協議会の皆様、加子母小学校の教員・6年生の皆様、加子母中学校の教員・1年生の皆様にご協力いただいた。ここに深く感謝いたします。

参考文献

1) 加子母小学校HP, <http://www.city.nakatsugawa.gifu.jp/kyouiku/kashimoes/> (最終閲覧日:平成31年3月31日).